

1. 主催者あいさつ（北海道森林管理局調査官）



大勢の方々にご参集いただき、ありがとうございます。
定山溪中学校は、森林の動植物の調査や森づくり活動に大変熱心に活動されていると感じました。また、ご参集いただいたNPO等の方々も森づくりや森林環境学習など精力的に取り組んでいただいているとお聞きしております。

本日、発表していただく2団体は、これまでの成果を評価されて大臣賞を受賞されている団体です。また、定山溪中学校も今年、札幌市長賞を受賞されており、レベルの高い活動をされている方々の発表を非常に楽しみにして参りました。ご参集の皆様方も今後の参考になるものと思います。

私共も、この発表会を通じて今後の森づくりの活動の輪が広がり、多くの方々と協同して活動していることが実感していける一年にしたいと考えております。

本日の発表会において有意義な時間が共有できますことを期待しております。よろしくお願ひ致します。

2. 活動発表

- | | | |
|----------------------|-----|--------|
| ① NPO法人森林遊びサポートセンター | 発表者 | 行天純子 |
| ② NPO法人北海道森林ボランティア協会 | 発表者 | 大窪健一 |
| ③ 石狩地域森林ふれあい推進センター | 発表者 | 牧野健司 |
| ④ 札幌市立定山溪中学校 | 発表者 | 全学年全生徒 |

NPO法人森林遊びサポートセンター 行天さんからは、「げんきな森づくりと子どもたちと森と木々の爽やか学習活動の中から」と題して、藻岩山、野幌森林公園等様々な活動地での森づくり活動や藤の沢、駒岡小学校との学校林での多様な体験学習など、会発足以来24年間にわたる活動内容の発表があり、森づくりをつうじて会員の「やりがい」や「生きがい」の増進を目的として、変動する社会的要請を先取りしながら、今後も継続して取り組んでいきたいとの発表がありました。



続いて、NPO法人北海道ボランティア協会 大窪さんからは、「澄川南小学校との取り組み 子供達たちと遊び・学び・ボランティアをしよう」と題して、各地での下刈り、間伐等の森林保全活動や幼稚園、澄川南小学校との都市環境林での葉っぱ拾い、キノコ栽培、炭焼き、カンジキ作り等の自然体験学習などの活動内容の発表があり、地球環境の向上や自然との共生を願う同士が集い、今後も新たな展開の活動を続けていきたいとの発表がありました。

定山溪中学生からは、今年度の活動を中心に「森づくりのあゆみ」と題して、奥定山溪活動地での山取り苗を育てて植栽する森づくりや野生動物・昆虫等の調査、地元の植物を守る環境保全活動等の経過の発表があり、森林教室等の活動から「身近な自然の素晴らしさや大切さを知り、自然に対する思いが変わり、今後も自然に関わっていききたいと感じた」、「この活動が後輩に引き継がれ、地域の森がふるさとにいつまでもあることを願っています」との発表がありました。



Forum
on Creative Forest



「平成二七年度 森づくり活動発表会」を開催し、NPO法人や定山溪中学校生徒が実施した森林環境学習や森林保全活動等の内容の発表や「もりを観る・学ぶ・育む」と題してパネルディスカッションを行いました。

森づくり活動発表会を開催しました

開催日時

平成28年2月25日

13時30分～

開催場所

札幌市立定山溪中学校

プログラム

1. 活動発表
2. パネルディスカッション
3. その他

成果等のパネル等展示

3. パネルディスカッション



パネラー

NPO法人森林遊びサポートセンター 小林文男・行天純子
NPO法人北海道森林ボランティア協会 市山勝一郎・大窪健一
札幌市立定山溪中学校 寺本・大野・伊達

進行

石狩地域森林ふれあい推進センター 藤生浩史

パネルディスカッションでは、「もりを観る、学ぶ、育む」をテーマに、大人と子供の目線でみた森づくりについて、ディスカッションしました

中学生の3人から、森林で活動した率直な感想を聞いてみました

- ・ 森林教室などで多くのことを経験し、これからも学んでいきたい
- ・ 定山溪の森林が貴重な財産であることに気づいた。森を守るために自ら関心を持つこと、多くの人と関わり活動することが大事と感じた
- ・ 植林活動の難しさを経験した、野生動物に荒らされたが、これからも心を込めて育てていきたい



NPOの方々、子供達と活動していて、どのように感じていますか？

- ・ 子供達に木の話をしています、今日の発表に感動しました、自然を総合的に観察していて、自分たちが活力をもらった気がします
- ・ 非常に詳しく観察されている
奥定山溪でクマなどに対する恐怖心はないのかな？
- ・ 幼稚園児から小学生まで接していて楽しい、高齢化のためいつまで皆さんと一緒にやっていけるのかな～と思っている



山奥で活動していて恐怖心は？

- ・ 小学生の頃から育っている地元であり、みんな一緒なので大丈夫と信じている
山の先輩達がどのように見えているか？
- ・ 丁寧に教えていただき、先輩達がカッコ良く映っています



若い人たちの活気が教える側の活力につながっているように思います
NPOの皆さんが自身をご高齢と言われておりますが、非常に活気のある活動をされているように思います、ズバリ、その元気の秘訣、人気の秘密は？

- ・ 今日定山溪中学生の非常に素晴らしい発表を聞いて感動しております、私は長年の活動で森林のありがたみが解ってきた、皆さんも、長期の活動と次代へ引き継いでほしいと願っている、心を同じにすると活気ある活動につながる
- ・ あえて愛称で呼んでもらったら身近になった、子供の目線で話すことが難しい、子供達が森に入って「楽しいこと」、「やってみたいこと」など生の声を聞きたい



中学生の皆さんは、小学校から引き続き活動していることや日頃の調査等で観察力がついていると思います、「森で楽しかったこと」、「今後やってみたいこと」は？

- ・ 自然の中に行くことが学校の中での授業とは違った新鮮な気持ちになる
- ・ 森林の中を漠然と歩くのではなく、動植物等に興味を持って歩くと楽しかった
今後多様なことにふれあいたい
- ・ シカが可愛いなど、普段と違うことに接することができる



自然の多い環境にいる子は、道徳観、正義感が強いといわれております、自然を体験をした後は、勉強に対する意欲が増すともいわれております、どうですか？

- ・ 疲れて寝てしまうが、快眠できるので大丈夫です
- ・ この環境で暮らしているので、おおらかに育ってきたのかなと思います
- ・ すっきりしたか分からないけど、心が和む



最後にパネラーの皆さんから一言ずつ

- ・ 皆さんの活動に対する思いを受けて、自身の活力になった
- ・ 森は植えてからが森づくりです、若い人に長い活動をしてほしいと感じました
- ・ 私たちの活動を受け継いでくれる人が育っていただけたらと感じました
- ・ 今日は、イイ話し合いができました、これからの活動に役立てたい
中学生の方々も活動のリーダー格として育っていただきたい



パネラーの皆さん、ありがとうございました

会場からは、中学生が様々な観点から詳しく調査をされているので、定山溪の外来種についても調査していくと知識が広がると感じました。との意見がありました



4. 定山溪中学校の調査研究成果展示



5. 閉会



定山溪中学校 校長 阿部時彦

各発表者、会場の皆様、多くの方々にご来場いただき大変うれしく思っております
昔は、学校林を作って地域の方々と一緒に活動しておりました
現在は、学校林がなくなり、発表したような内容で子供達が森を作る活動をさせていた
ただいっており、これからも続けていきたいと考えております
今後もここにおられる皆様方のご協力を賜ればと思います
本日は、大変ありがとうございました